

各位

バーチャレクス・ホールディングス株式会社
(東証グロース：6193)**バーチャレクス、スリーシェイク社とのリセラーパートナー契約を締結**

～ 「Reckoner (レコナー)」の提供を開始、顧客接点領域におけるデータ活用支援体制を強化～

バーチャレクスグループのバーチャレクス・コンサルティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：丸山勇人、以下、バーチャレクス）はこのたび、株式会社スリーシェイク（本社：東京都中央区、代表取締役社長：吉田 拓真、以下、スリーシェイク）とパートナー契約を締結し、同社が提供するクラウド型 ETL ツール「Reckoner (レコナー)」の提供を開始したことをお知らせいたします。



バーチャレクスはこれまで、CRM 導入支援やコンタクトセンター高度化支援など、企業の顧客接点領域における業務設計・システム構築・運用改善を一貫して支援してまいりました。その中で、多くのお客様が直面しているのが、SaaS や基幹システムに分散したデータの統合・活用という課題です。顧客接点で取得されるデータを迅速に分析・活用するためには、柔軟かつ拡張性の高いデータ連携基盤が不可欠です。

「Reckoner」は、ノーコードでデータの連携・加工・統合を実現できるクラウド型 ETL ツールです。多様な SaaS やデータソースと接続可能で、エンジニアに依存しないデータ基盤構築を可能にします。

本パートナー契約により、バーチャレクスは CRM やコンタクトセンター領域で培った業務設計力と「Reckoner」を組み合わせ、単なるデータ連携の構築にとどまらず、顧客接点データの統合から可視化・活用定着までを一気通貫で支援できる体制を強化いたします。これにより、お客様はシステム間連携の効率化だけでなく、顧客理解の深化や施策高度化といったビジネス成果の創出を実現できます。バーチャレクスのコンサルティングおよびシステム導入支援の知見と、「Reckoner」の高いデータ連携機能を組み合わせることで、企業のデータ活用基盤の構築から運用定着までを一貫して支援してまいります。

■ 株式会社スリーシェイクについて (<https://3-shake.com/>)

スリーシェイクは、IT インフラ領域の技術力に強みをもつテクノロジーカンパニーです。2015 年の創業から提供している SRE コンサルティング事業「Sreake (スリーク)」では、AWS / Google Cloud / Kubernetes に精通したプロフェッショナルが技術戦略から設計・開発・運用を一貫してサポートしています。また SRE 領域で培ったノウハウをベースに、2020 年 4 月にクラウド型 ETL ツール「Reckoner (レコナー)」を提供開始し、ビジネス分析やマーケティングへのビッグデータ活用を簡易に実現可能としました。以後、フリーランスエンジニア特化型人材紹介サービス「Relance (リランス)」やセキュリティサービス「Securify (セキュリファイ)」を提供開始し、DX 時代における技術戦略設計からセキュアなアプリケーション開発、データ活用までを一貫提供可能な体制を進めています。

■ バーチャレクス・コンサルティング株式会社について (<http://www.virtualex.co.jp>)

バーチャレクス・コンサルティングは創業来「企業と顧客の接点領域」にフォーカスしたビジネスを展開しており、「顧客の成功こそが自社成長

の鍵である」というカスタマーサクセスの考え方にもとづき、"Succession with You" — 一度きりの成功の「Success」ではなく、連続する成功という意味の「Succession」を、「for You」ではなく、伴走するという意味で「with You」していくことを企業として掲げています。現在では顧客企業の CRM 領域の DX・デジタルシフトを、コンサルティング、テクノロジー、オペレーションのコアスキルを融合させ、ワンストップ伴走型でサービスを展開しています。

■ **バーチャレクスグループについて** (<http://www.vx-holdings.com>)

バーチャレクスグループは、各企業約 1,000 名以上の従業員が一体となり、金融・保険、IT・情報通信、通販・インターネットサービス、教育、官公庁・自治体など、幅広い業界のクライアント様に対して、それぞれの専門知識を活かしたサービスを提供しております。2016 年 6 月には東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場しています。

< **株主・投資家情報に関するお知らせ** >

IR メール自動配信サービスを導入しておりますので、適時開示情報やプレスリリースのメール配信をご希望される方は、[こちらのフォーム](#)よりご登録ください。

■ **本件に関するお問い合わせ**

[専用フォーム](#)よりお問い合わせください